

2007年9月18日

各位

株式会社みずほ銀行

総合口座貸越選択サービスの取扱開始について

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山清次）は、2007年9月18日（火）より、キャッシュカードやインターネットによる取引のセキュリティ強化に向けた取り組みとして「総合口座貸越選択サービス」の取扱を開始しました。

本サービスは、窓口での事前のお手続きにより、公共料金・クレジットカードの口座振替やローンのご返済などについては、総合口座定期預金を担保に残高不足額を自動的に融資（当座貸越）する「総合口座貸越」をご利用いただきながら、ATMやみずほダイレクトでのお支払については、総合口座貸越を支払可能残高に含めないサービスです。

万一、偽造・盗難カードやインターネットバンキングの不正使用といった犯罪被害に遭われた場合にも被害を限定的にする効果があるとともに、「通帳は一冊にまとめたいが、総合口座貸越は利用したくない」と考えるお客さまのニーズにもお応えできるものです。

みずほ銀行は、今後も、預金者のみなさまの大切なご預金を安全にお預かりするべく、セキュリティ向上に取り組んでまいります。

以上

【総合口座貸越選択サービス」の概要】

《総合口座貸越の対象とならないお取引》

- 例 -

ATMでのお引き出し



みずほダイレクトでの振込



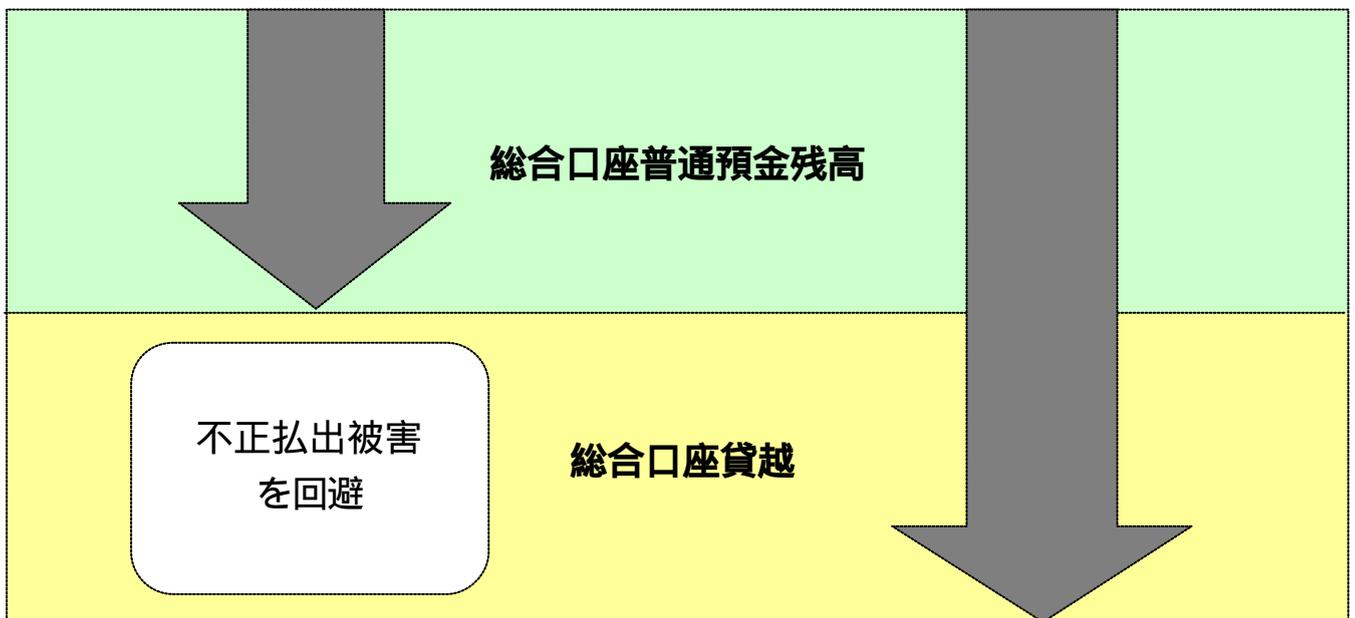
《総合口座貸越の対象となるお取引》

- 例 -

窓口でのお取引

公共料金・クレジットカードの
口座振替

住宅ローンのご返済



当行のキャッシュカード取引・みずほダイレクト（インターネットバンキング）取引に係るこれまでのセキュリティ向上策の主なものは、以下のとおりです。

時期	キャッシュカード	インターネット	具体的内容
2005年3月			個人のお客さま向けの普通預金キャッシュカードについて、全面的にICキャッシュカードとして発行を開始。
2005年3月			キャッシュカード取引について、異常な取引のモニタリングを開始。
2005年4月			ATM操作時の後方からの覗き見防止のため、後方確認ミラーを全ATMへ設置完了。
2005年6月			ATM操作時の画面覗き見防止のため、偏光フィルターを全ATMへ設置完了。
2005年8月			スパイウェア対策として「ログイン時パスワード」入力時のソフトウェアキーボード利用を開始。また、振込取引用「暗証番号」を取引の都度、当行が指定する方式へ変更。
2005年9月			偽造・盗難カード被害抑制の観点から、1日あたりのATMご利用限度額（お引き出し・お振込）を変更。また、お客さまの個別のニーズにお応えすべく、「ATM利用限度額任意設定サービス」取扱開始。
2005年9月			個人のお客さま向けの普通預金キャッシュカードに加え、「貯蓄預金キャッシュカード」「法人のお客さま向けの普通預金キャッシュカード」について、全面的にICキャッシュカードとして発行を開始。
2005年11月			各種キャッシュカード規定を改定し、個人のお客さまの偽造・盗難カード被害の補償を開始。
2006年1月			ログイン時のパスワードについて、お客さまが忘れにくく、かつ、他人に推測されにくい設定とできるよう32桁へ拡大。
2006年3月			ATMによる「1日あたりのATMご利用限度額」の引き下げ取扱開始。
2006年3月			コンビニATM（イーネット・ローソン）による「暗証番号」の変更取扱開始
2006年8月			「生体認証機能付きICキャッシュカード」の発行開始。
2007年6月			RSAセキュリティ株式会社が提供する「RSA FraudAction（アールエスエー・フロードアクション）」を導入し、フィッシングサイトを短時間で閉鎖できる体制を構築。
2007年9月			他人に推測されやすい「暗証番号」を使用されているお客さまに対し、ATMでの取引の都度「暗証番号」の変更を促す個別的・具体的な注意喚起を開始。
2007年9月 （本件）			不正払出しの被害を限定的にする「総合口座貸越選択サービス」の取扱開始。
2008年春 （予定）			取引毎に異なる「使い捨て方式」のパスワードである「ワンタイムパスワード」の導入を予定。
2008年春 （予定）			お客さまが普段ご利用いただくパソコン等の環境を総合的に分析・リスク計量し、不正なアクセスを検知する認証方式である、「リスクベース認証」の導入を予定。